

ヤンバルクイナの現状

ヤンバルクイナは今何羽なの？

昭和85年：推定1800羽だった

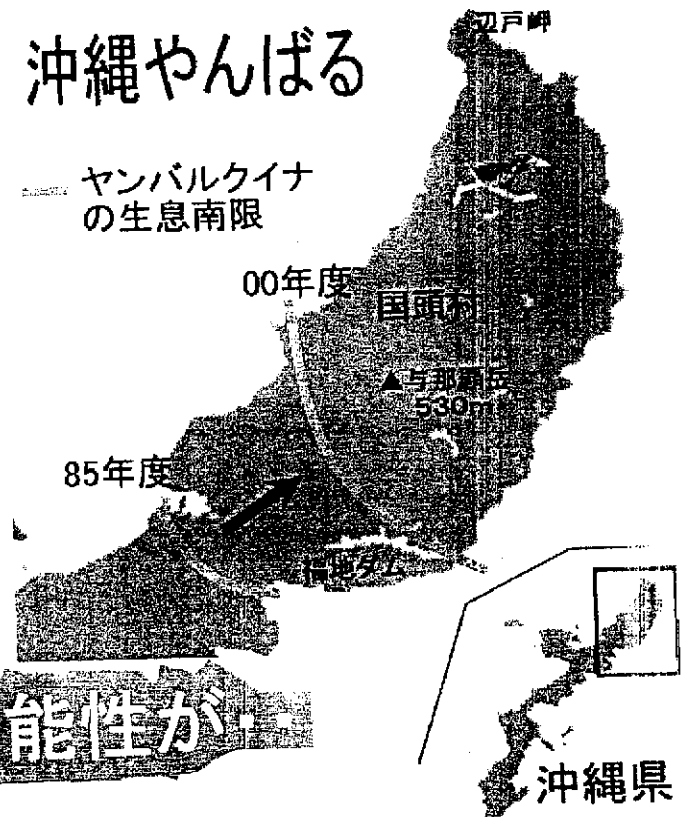


分布面積：15年間で25%減少

1000羽以下かもしれません。

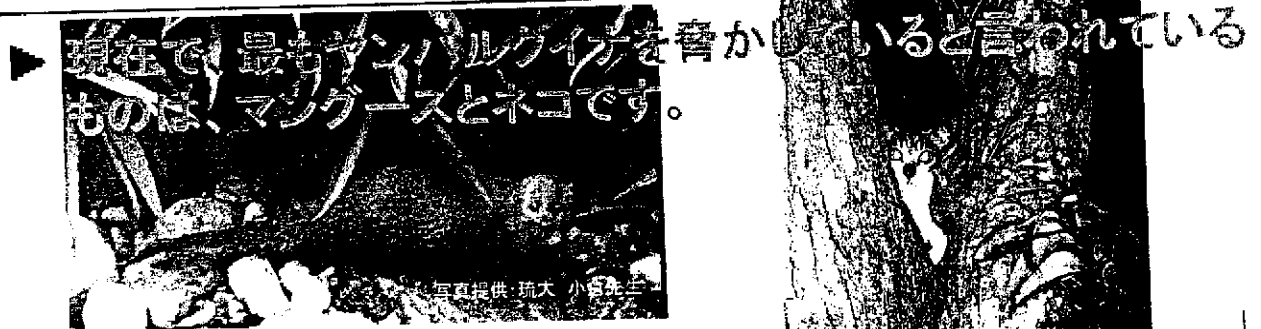
沖縄やんばる

ヤンバルクイナの生息南限



第二のトキになる可能性が

なぜヤンバルクイナは少なくなったの？



肉食獣がいない島の中で暮らしてきたヤンバルクイナたちは、マングースやネコのように敏捷で優れた肉食獣に対抗する術を知らずにどんどん食べられている。

私たちはどうすればいいの？

ヤンバルクイナを食べてしまう野良ネコをふやさないこと！

- ❑ 山原以外に住んでいる人々に「ネコを捨てないように」呼びかけること。
- ❑ ネコを捨てないように皆で監視すること。
- ❑ 飼っているネコが野良ネコになったり、野良ネコになる可能性のある子猫を産まないように避妊や去勢をし、室内飼いをするのではないのでしょうか。

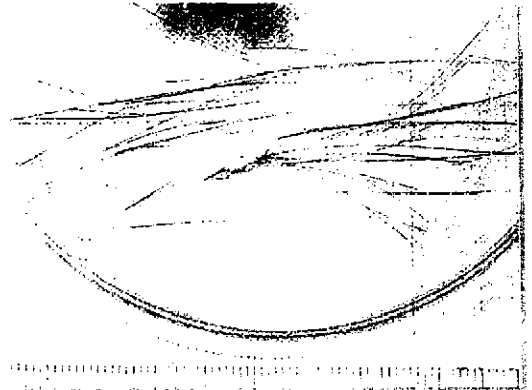


ネコに食べられたやんばるの生き物たち

哺乳類



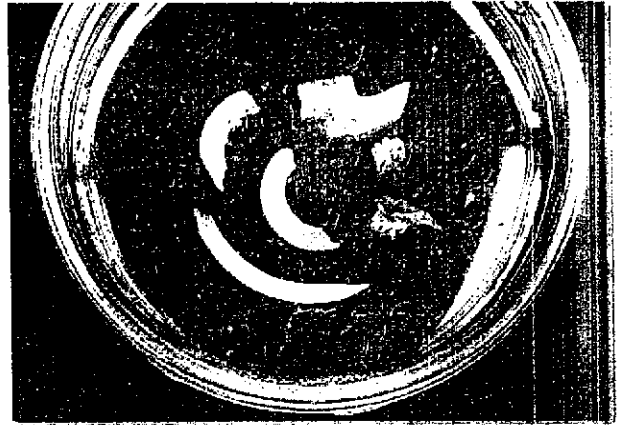
ケナガネズミ(国指定天然記念物)
 ・日本最大のネズミ ・固有亜種
 ・一千頭以下といわれている。



ケナガネズミの体毛



オキナワトゲネズミ(国指定天然記念物)
 ・やんばるの固有亜種・危急種



オキナワトゲネズミの門歯と臼歯

鳥類



ホントウアカヒゲ(国指定天然記念物)
 ・やんばるの固有亜種・危急種



ホントウアカヒゲの羽と羽毛

両生類



ナミエガエルの骨

資料・写真提供 沖縄県自然史博物館 主任 久高和博
 撮影 久高和博 2013年10月 財団法人 日本野鳥の会 やんばる支部 写真協力 久高和博ほか

すでに絶滅したヤンバルクイナの仲間

現在までに、絶滅したクイナの種は二十種以上にも上ります。

敵がほとんどいない島に棲んでいるクイナの仲間は、飛翔力が弱い種ばかりです。ところが、それまで肉食獣がいなかった場所に人間がイヌやネコを持ちこんだために、飛べないクイナたちは食べ尽くされ、絶滅しました。

島に棲む固有種で、飛翔力が弱い

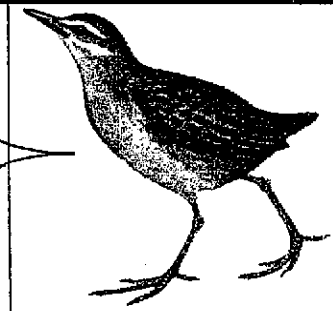


絶滅しやすい



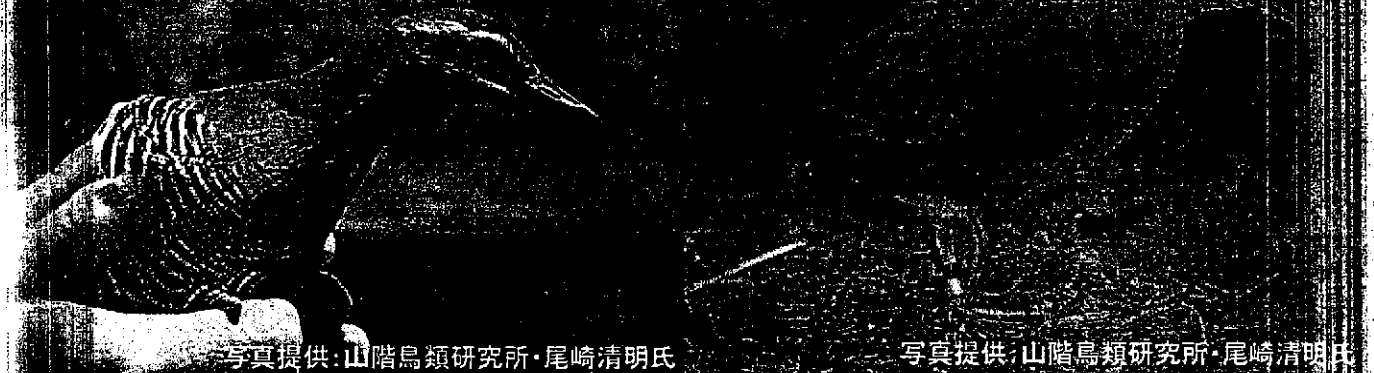
硫黄島のもの
ネコによって
絶滅

マミジロクイナ



絶滅しそうなヤンバルクイナの仲間たち

ヤンバルクイナと同じように、島に棲む固有種で飛翔力が弱く、数が減って懸命に保護対策が取られているクイナの仲間たち



写真提供: 山階鳥類研究所・尾崎清明氏

写真提供: 山階鳥類研究所・尾崎清明氏

グアムクイナ

移入種のヘビにより、
2200羽以上がたった5年間で
なんと 20羽になった。
現在、人工繁殖が進められている。

ロードハウクイナ

オーストラリア ロードハウ島に生息する
イヌやネコ、家畜などにより一時は
30羽にまで減少した。

現在は島民の保護のため、300羽にまで回復。

ヤンバルクイナたちを 守る獣医師の会

<http://homepage1.nifty.com/kunigami/Yanbaru/index.htm>

処分される猫たちを減らすために、沖縄の貴重な財産であるヤンバルの生き物を未来のこども達に残すために、沖縄の獣医師たちが立ち上がりました！

■ はじめに

1981年、国頭村で発見された飛べない鳥ヤンバルクイナが今、移入動物（野ネコ、マングース）による捕食圧により絶滅の危機に瀕しています。

特に野ネコの糞便中からヤンバルクイナやケナガネズミなどの天然記念物や絶滅危惧種に指定されている動物が捕食されていることが判明しました。ネコの狩猟能力を考慮するとマングースの比較にならない被害が予想され、今後5年間という短期間で絶滅するおそれがあると言われていています。飼い猫がヤンバルの森林に入り込んでいった原因は近隣の飼い猫の増殖と他地域（中南部）からの捨て猫に由来すると考えられています。

この問題の中にはペットの繁殖コントロール、捨て猫、捨て犬を発生させない飼い主教育やペットに関する条例の策定など、獣医師が積極的に関わらなければ解決できない問題も少なくありません。

つきましては、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

■ 会の目的

獣医師の立場で、処分される猫を減らし、絶滅の危機に瀕するヤンバルクイナをはじめとする沖縄北部地域の野生動物の保護を目的とする。

■ 活動内容

ネコやマングース等などによるヤンバルクイナをはじめとする野生動物への捕食圧を減じるための対策を講じる。

■ 具体的内容

- ・国頭村・大宜味村・東村を対象とした飼い猫の不妊・避妊手術の実施
- ・市民に向けてのパネル展や公開シンポジウムの開催
- ・その他の広報活動（HP等）

活動内容 - ヤンバルクイナたちを守る獣医師の会 -

野生の動植物は、生態系の重要な構成要素であるだけでなく、自然環境の重要な一部として人間の豊かな生活に欠かすことの出来ないものです。

海邦国体のマスコットなどで活用され広く県外に知られている沖縄の自然を代表するヤンバルクイナが、このままの状況ではあと5年で絶滅するといわれています。私たち獣医師は、動物に関わるエキスパートとして、ヤンバルクイナたちを保護を支援するために、そこに隣接して暮らしている村の方々の飼い猫の避妊・去勢の実施や、不幸な猫や捨て猫などが増えないように啓蒙活動をし、動物愛護思想を普及させるとともに、多様な生態系を維持するため自然環境の保全に勤めてまいります。

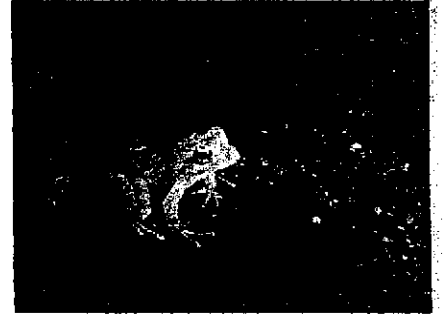
啓蒙活動 - 展示会など - 1

パネル展など数多くの展示をすることにより、今のヤンバルクイナたちの現状を多くの人々に知ってもらうことにより、猫を大切に飼うことなど、私達ができることはどうすればよいのかを考えよう。



マイクロチップの普及活動 3

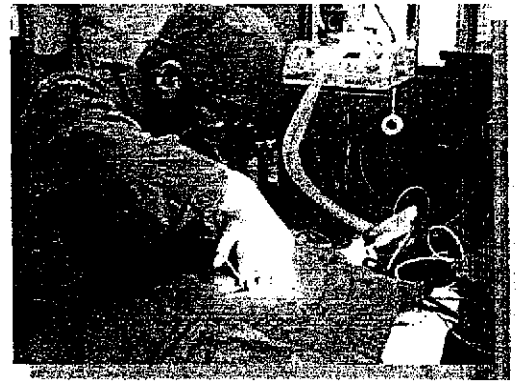
犬や猫の一生涯の身分を証明してくれる指先に乗るほどの小さなチップを普及することにより、猫や犬を大切に飼ってもらう意識を高めることを目的に普及活動をしています。



ヤンバルクイナたち=ヤンバルの生き物たち

飼い猫の避妊・去勢 2

ヤンバル(国頭村・大宜味村・東村)を対象とした飼い猫の不妊・避妊手術の実施活動。



犬や猫を捨てないでパトロール

直接的に猫や犬を捨てる人を減らし、また、法律により罰されますことを多くの人々にチラシを配ることにより伝えています



ヤンバルクイナたちを守るためのネコの飼い方パネル展

「ヤンバルクイナたちを守るためのネコの飼い方パネル展」の会場は、国頭村安田区公民館の大ホールで行われた。パネル展では、ネコの適正な飼い方やマイクロチップ、ネコの避妊・去勢、ネコが捕食したヤンバルの生き物達などパネルの他、本や標本も展示した。



パネル展は、各テーマごとに並べてあり、わかりやすくまとめられていました。また、パネルだけでなく、本や絵本、猫に食べれたヤンバルクイナの羽やサンバ(鷹)の標本なども展示された。



雨の中、安田区民、その他の区からも多くの方々がパネル展を見にきてくださいました。雨の中、安田区民、その他の区からも多くの方々がパネル展を観に来てくださいました。

これからのヤンバルを守る子供たち



パネル展での一幕：ヤンバルクイナにキスをしている女の子

安田の子供たちは全員知っているのだろうか？この女の子はその後「ヤンバルクイナの歌」を歌ってくれた。幼稚園で習うのだろうか？



ヤンバルクイナを守る獣医師の会のメンバーの説明を真剣に聞く子供たち

パネル展には多くの子供たちも観に来てくれました。



飼い猫を対象とした去勢・避妊手術 と 個体識別のためのマイクロチップの導入

動物の身分証明書＝マイクロチップ の埋め込み



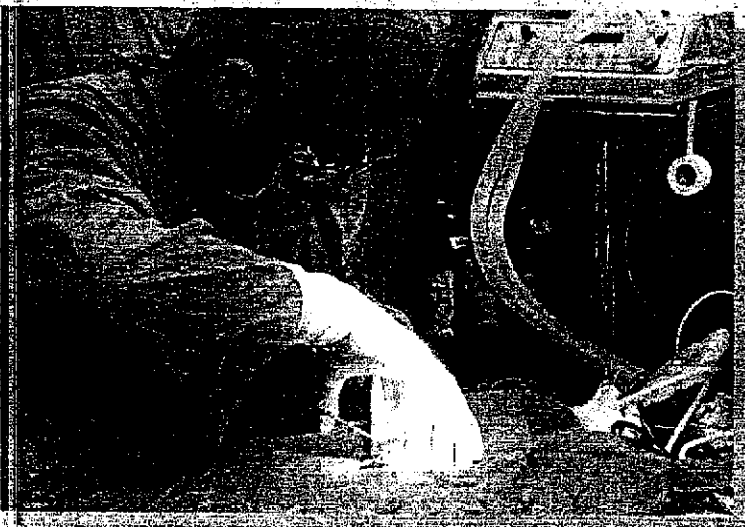
飼い猫の個体識別のためのマイクロチップを埋め込む。注射をする感覚で、一瞬で行われる。



埋め込みを行われた後、ネコも安心している。

写真は、マイクロチップの個体番号を読み取る機械で、埋め込んだ後にそれを確認し飼い主に説明しているところ。

ネコの不妊 去勢手術

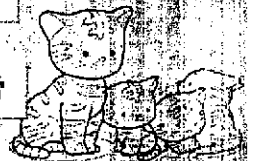


ネコの出産回数が3回という例もまれではない。

↓
多くの子ネコが生まれる

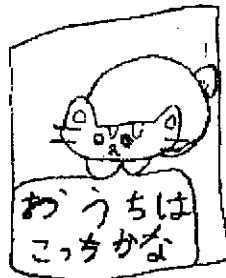
↓
新しい飼い主探しに苦労

↓
野良ネコが増える可能性大



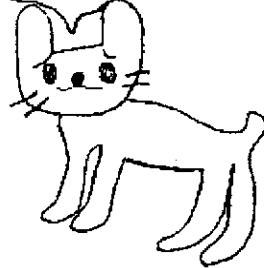
だれがわるいの

1



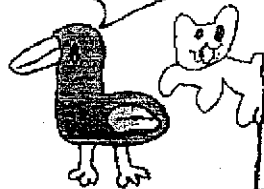
2

なにが
たべるものは
ないか



3

たすけて

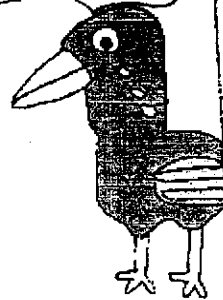


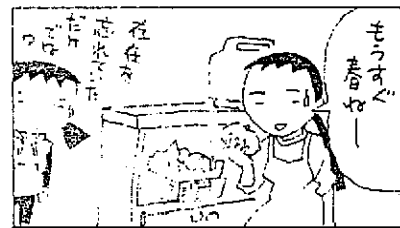
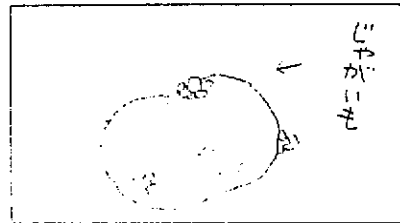
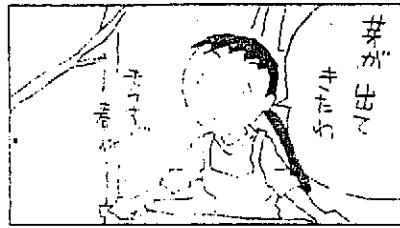
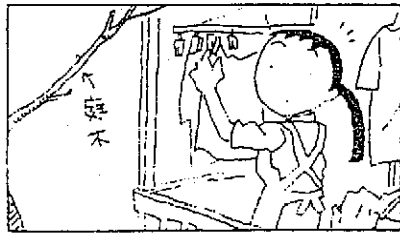
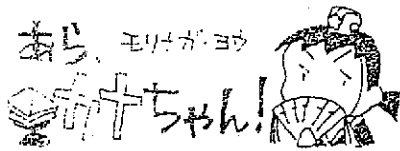
4

ほくたち
だって
おなかが
すいて
いるんだ
もん



たすけて
ほくたち
たべられちゃうよ
こわいよ



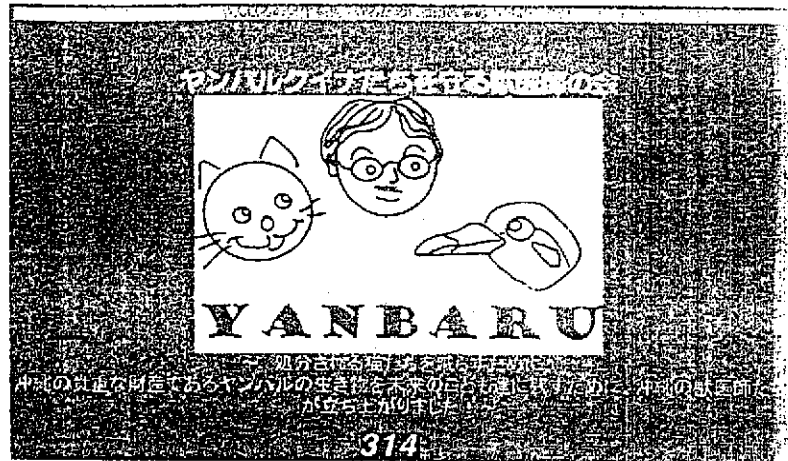


新南嶋探験 2,500円+税
 笹森儀助と沖縄百年
 琉球新報 出版部 098(865)5100

レトルトカレー
 材料産地を偽装
 賞味期限も延長
 岡山の食品卸会社
 岡山市の食品卸会社
 岡山県は十六日、業務用レトルトカレーの材料の半分以上は野菜の産地を偽装して、賞味期限を延長、

岡山県は約九割の野菜が、岡山県産野菜と偽装して販売していたと発表した。岡山県は食品衛生法違反の疑いがあるとして、賞味期限が今年五月と延長されたのを同年十月に調査を開始、始末書の提出を求めるとして、賞味期限を延長していたと発表した。

岡山県は約九割の野菜が、岡山県産野菜と偽装して販売していたと発表した。岡山県は食品衛生法違反の疑いがあるとして、賞味期限が今年五月と延長されたのを同年十月に調査を開始、始末書の提出を求めるとして、賞味期限を延長していたと発表した。



開発や移入種の捕食で絶滅の危機にあるヤンバルクイナなど北部の野生生物を守り、駆除されるネコをなくしようと、国頭村安田区や県内の獣医師がネコの適正飼育を目指す活動を始めている。安田区は「まず地元から」と室内飼育や登録制などを盛り込んだ独自の「飼い猫飼育条例」を検討、四月の制定を目指して区のヤンバルクイナを守る獣医師の会のホームページ

HP開設、パネル展… 多彩な地域支援

獣医師の会「立ち上げ」
 畜性化委員を議論している。獣医師らは「野生動物とペットの両方にかかわる獣医師だから、できることがある」と有志を募って「ヤンバルクイナたちを守る獣医師の会」を組織し、代表を立ち上げた。二十四日には両者が協力して区民の飼いネコを対象とした去勢・避妊手術とパネル展を区公民館で開く。

「ヤンバルクイナもこのままではいなくなってしまう」と住民に呼び掛けた。換えられたペットは北部以外の地域から持ち込まれたとみられているが、北部地域でも屋外でネコを飼っている例が多い。これらのネコが、野生動物を捕食する可能性もある。

独自「飼育条例」制定を目指す

「ペットの適正飼育や繁殖管理など獣医師が積極的にかわるなければ解決できない」と県内の獣医師らで一月に結成した。ペットと野生動物両方の情報を載せた年報「ヤンバル」を作成したほか、飼い猫に個体識別のためのマイクロチップを埋め込み、適正飼育を訴える催しも開く予定だ。

長嶺代表は「無責任な飼い主が野生動物を絶滅に追いやり、不幸なネコを生み出している。県民は、地元が努力している姿を見てほしい」と話している。

アドレスはhttp://homepage1.nifty.com/~kunigami/Yanbaru/

クイナもネコも守ろう